

## すべては刀剣ファンのために

尾張徳川家伝来の大名道具を収蔵する徳川美術館(名古屋市)。同館が所蔵する刀剣の中でも人気の6振「なまざおとうしろう」「ごとうとうしろう」「ものよしきだむね」「なんせんいちもんじ」「ほんきくちようぎ」「きみだれごう」(「なまざおとうしろう」後藤藤四郎)「ごとうとうしろう」南泉一文字)「ものよしきだむね」本作長義)「なんせんいちもんじ」五月雨郷)を総称して「とくびぐみ」と言います。そのオリジナルグッズも展開する徳川美術館と丸井グループの共創が2019年にスタート。刀剣ファンの社員が参画したことで、取り組みが進化してファンの心をわしづかみにしています。



徳川美術館と共創を進める

## 丸井グループとくびぐみチームに聞く

布川 貴子

藤原 映乃

玉橋 利沙

## CO-CREATION STORY

# 徳川美術館を 応援したいという想いを 助太刀!

2019年11月、有楽町マルイで開催したイベント「とくびぐみフェス」から、徳川美術館との共創は始まりました。イベントでは「とくびぐみ」オリジナルグッズを販売。さらに、会場には刀剣のポスターを掲げるなど、刀剣ファンに楽しんでいただける空間づくりにこだわりました。

2回目のイベントの企画中に、新型コロナウイルス感染症が拡大。店舗でイベントを開催しても感染症によりお客さまがご来店しづらい事態に陥りました。その中で、とくびぐみの新たな展開に期待を寄せている全国のファンの想いに応えたいと、2021年にマルイウェブチャンネルでのグッズ販売をスタート。「ECサイトで気軽に刀剣グッズを買えてうれしい!」など、ご好評の声をいただきました。

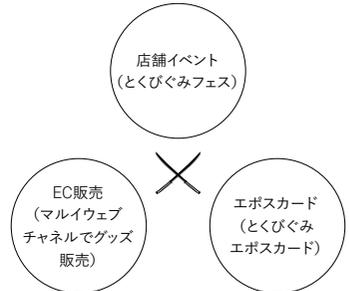
徳川美術館は公益財団法人であるため、寄付金や来館者の入場料によ

る公益事業とグッズ販売などによる収益事業の二つの収入構造のうち、公益事業での収入率を法律上、50%以上にする必要があります。グッズの売上が上がると収益事業比率が上がることで公益事業の構成比率が下がってしまうため、取り組みの拡大が難しい状況でした。そこで、美術館の公益事業比率と、ファンの「好きな刀剣や美術館を応援したい」という熱量の高い気持ちの両方に貢献するため、美術館へ寄付ができる「とくびぐみエポスカード」を発行しました。新規入会1名につき1000円を丸井から寄付するだけでなく、お客さま自身が貯まったエポポイント美術館へ寄付できる機能も搭載。貴重な文化財を守る社会貢献につながります。

丸井グループでは、ファンの皆さんに喜んでいただけるように「店舗イベント」「EC販売」「エポスカード」を活かした

共創の取り組みを行っています。今後も、より多くの刀剣ファンにしあわせを届けていきます。

### 丸井グループの特徴を活かした共創の取り組み



### 公益財団法人の事業

公益事業	
・寄付金	50%以上
・来館者の入場料	50%以上
収益事業	
・グッズ販売 など	50%未満



徳川美術館  
1935年、大名文化を後世に伝えることを目的として、名古屋市に開館しました。尾張徳川家に受け継がれた宝物や刀剣など、所蔵品は大名家伝来のコレクションとして日本最大規模であり、その地位にふさわしい質の高さと格式を有しています。



公式サイト

# 「楽しみたい」「応援したい」 両方の想いをかなえたい

刀剣好きからプロジェクトメンバーになった藤原さんと玉橋さん、  
そして立ち上げ当初から共創を進める布川さん。  
3名に取り組みの裏側や想いを聞いてみました。



玉橋 利沙 | RISA TAMAHASHI  
(株)丸井 店舗サポート部  
推し刀剣:「本作長義」



布川 貴子 | TAKAKO FUKAWA  
(株)丸井 EC事業部



藤原 映乃 | AKINO FUJIWARA  
(株)丸井グループ 人事部  
推し刀剣:「鯨尾藤四郎」

## より多くの方に美術館へ 訪れてほしい

刀剣好きになったのは、刀剣育成シミュレーションゲーム「刀剣乱舞-ONLINE-」がきっかけです。登場する刀剣男子たちが魅力的で、彼らの会話から歴史や刀剣の知識が増え、次第に刀剣そのものに興味を持ちました。旅行に行く時は刀剣にゆかりのある美術館や神社、お城などに足を運んでいます。SNSで自分が担当したイベントやグッズの写真の投稿を見つけるたびに、「喜んでいただけたんだ」と感じて、とてもうれしくなります。「いかに美術館や刀剣を盛り上げられるか」をゴールと考えているので、共創の取り組みを通じて、より多くの方に美術館へ足を運んでいただけることを願っています！

## 新しい体験型イベントを 開催しました！

刀剣好きメンバーを社内公募し、藤原さん、玉橋さんを含む6名に共創の取り組みへ参画してもらいました。実際のファンの声を反映できるので、お客さまにも共感していただけるグッズをお届けし、イベントを開催できていると感じます。そのうえで、ファンの「刀剣を応援したい」という想いを、文化財保護という社会貢献につなげることもできてうれしいです。2023年9月には「徳川美術館ナイトミュージアム」、10月には「刀剣festival」を開催しています。今後も、このような体験型イベントを企画していきますので、ぜひお楽しみに！

## 入社動機は、刀剣にかかわる仕事 をしたかったから

大学生の時に「新選組と刀剣の関係」についての卒業論文を書くため刀剣を調べているうちに、だんだんハマっていきました。初めて美術館で実物の刀剣を見た時は、フォルムの美しさに感動して、1日に6回も見に行っただけです。実は、丸井グループへの入社動機は「刀剣にかかわる仕事ができるかも!」と思ったからです。今はオタク全開で商品やイベントを企画しています。企画時には、ファンの「好きを楽しみたい」という気持ちを第一に考え、それを実現したうえで、刀剣を守るという社会貢献につながることを意識しています。「推しに良いことができてうれしい!」とだけ思っていたら私もうれしいです。

## CO-CREATION STORY

# オリジナルグッズも大好評！

徳川美術館との共創・その1

## とくびぐみフェス

2023年7月、有楽町マルイとなんばマルイにて「とくびぐみフェス2023」が開催されました。このイベントでは、マルイウェブチャネルと連携したオリジナルグッズ販売だけでなく、とくびぐみの切り絵をライトアップする演出を実施。刀剣ファンにとくびぐみらしい空間をお楽しみいただきました。非常に多くの刀剣愛あふれるファンの方にご来場いただき、イベントは連日大盛況でした！

イベント会場では、グッズや空間装飾に「かわいい!」「ほしい!」という反応をお客さまからいただけて、うれしかったです!  
(玉橋)



(左)推しカラーが選べるグッズ  
(右)とくびぐみフェスで飾った切り絵 公式サイト



徳川美術館との共創・その2

## とくびぐみエポスカード

2022年11月、徳川美術館へ寄付ができるカードとして「とくびぐみエポスカード」が誕生しました。新規ご入会1名につき1000円を丸井から美術館へ寄付させていただきます。また、お買物で貯まったポイントは、1ポイント1円に換算して、お客さまご自身で寄付ができます。お客さまの「好きな刀剣を応援したい」という想いをつなぐこのカードは、とくびぐみオリジナルデザインのため、推しを間近に感じながらお買物をお楽しみいただけます。



©The Tokugawa Art Museum



「とくびぐみエポスカード」のお申し込みはこちらから